

Koala

Journal of Kokusaijakuin Library Commission Members.

第 15 号 2019 年 12 月 10 日

編集・発行

国際学院埼玉短期大学

学生図書委員会

〒330-8548 さいたま市大宮区吉敷町 2-5

Tel : 048(641)7468 Fax : 048(641)7432

E-mail: tosyokan@kgef.ac.jp

読書と邂逅

図書館長 小山 有一朗

「人生邂逅し、開眼し、瞑目す」。これは、昭和期の文芸評論家、亀井勝一郎の人生についての寸言です。「人生は多くの出会いを通じて真理に達し、見えぬものに気づくようになり、そして終わっていく」という意味の言葉。仏教哲学に通じていた亀井勝一郎らしい意味深い言葉です。特に、「邂逅—思いがけなく出会うこと—」という言葉は彼の文芸評論活動を通じたキーワードであります。同時に、学生の皆さんにとっても、とても大切な言葉ではないか考えております。

今、皆さんがこれまでの人生を振り返ってみるとき、偶然の出会いがその後の自分に大きな影響を与えた、その出会いがあればこそ今の自分がある。そんな出会いがあったのではないですか。そして、皆さんには、茫洋たる未来が待っています。そこには、どんな出会いが待っているのでしょうか。新しい友だち、新しい先生、初めての職場、そして仲間。その偶然を逃すことなく、大切にしてほしいと思います。

「いついかなるとき、いかなる偶然によって、誰と出会ったか。そこでどんな影響を受け、どんな友情が、あるいは恋愛が成立したか。そういう経験をもつ人は、ふりかえって運命のふしぎに驚くであります。それによって一生が決定する場合も少なくない。邂逅こそ人生の重大事であります」。そして、さらに、「読書とは、著者の魂との邂逅である」。いずれも、彼の著書の言葉です。

人類の歴史始まって此の方、巡り合える人は限られても、一冊の本を通じ、この地上に生まれ、人生を駆け抜け、去っていった一人の人間と出会い、その魂と巡り会うことができる。読書とはかかる邂逅です。

図書館は、時空を超えた人と人との邂逅の場。学生の皆さんにとって、素敵な出会いがある場です。皆さんの図書館の利用を心からお待ちしております。

☆『Koala』第15号(2019年)

- ・ p1 「読書と邂逅」 小山有一朗 図書館長
- ・ p2 私からの「おすすめの一冊」
- ・ p3 学生図書委員のおすすめの本
- ・ p4 図書館からのお知らせ



私からの「おすすめの1冊」



1. 『脳には妙なクセがある』 池谷裕二 著 扶桑社

私のおすすめの一冊は「脳には妙なクセがある」(池谷裕二著・扶桑社)です。

筆者の研究のテーマは、脳科学の視点から見て「よりよく生きるとは何か」を考えることだそうです。このようなテーマにもとづき、これまで数多くの研究を行ってきた筆者ですが、その文章は非常に読みやすく書かれています。「むずかしい話だなあ」や「何について言っているのか分かりません」など感じる間もないくらい、あつというまに本の世界に引き込まれてしまいます。

「今日はツイてる!」と思うとき、ありませんか?筆者によると、そのように感じるのは決して思い込みなどではなく、しっかりとした理由があるそうです。

幼児保育学科 越智 光輝先生

2. 『料理の四面体』玉村豊男 著 中公文庫

この本は、世界中の料理を紹介しながら、料理の共通点を見つけ出し、火・水・油・空気からなる四面体によって料理を説明しようとする本です。料理における各材料と工程の役割を抑えれば、同じ方法論で料理のレパートリーを無限に増やせるという理論を、実際のレシピを例示しながら紹介しています。ひとつの料理の作り方ははじめから終わりまでを順をたどって要素に分解してみることに面白さを感じ、また登場してくる世界中の料理がどんな料理なのか想像力もかりたてられました。多くの料理が紹介されていますが、その中でもアルジェニア式羊肉シチューがとっても気に入りました。

健康栄養学科 福田 馨先生

3. 『ノンデザイナーズデザインブック [第4版]』

Robin Williams 著 吉川典秀 翻訳 小原司、米谷テツヤ 監修 マイナビ出版

同じ内容でも、抱かれる印象というのは見せ方・伝え方しだいで大きく変わります。もちろん内容は大切ですが、伝え方が不十分だったためにその魅力が十分に伝わらないことも珍しくありません。そこで活かされるのが「デザイン」です。「デザイン」というと専門家のもののように感じられますが、この本はタイトルにある通り、デザイナーではない人に向けて書かれています。学校の中のみならず、社会に出たあとにも考えを伝える機会はたくさんありますが、そのときに少しみなさんの助けになるかもしれません。機会があったらぜひ手に取ってみてください。

幼児保育学科 有原 穂波先生

4. 『嫌われる勇気 - 自己啓発の源流「アドラー」の教え』

岸見一郎・古賀史健 著 ダイヤモンド社

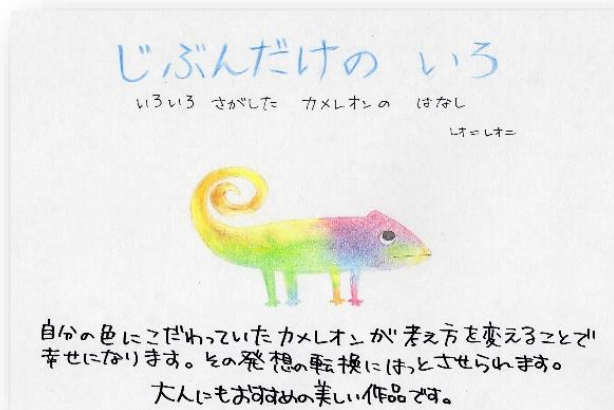
「アドラー心理学」という言葉を聞いたことがありますか?心理学なんて難しいものは分からないと思ってしまう人も多いかもしれません。

しかし、この本では青年と哲人の対話という形でアドラーの教えを現代人にも分かりやすく教えてくれます。「全ての悩みは人間関係に起因する」?

なんだか興味がわいてきませんか?皆さんもお悩み解決の糸口がきっと見つかるはず!!

健康栄養学科 内山 佳名子先生

学生図書委員のおすすめの本



「じぶんだけのいろ
いろいろさがしたカメレオンのはなし」
レオ=レオニ 作・絵 好学社 (幼1-A)

「おぼけのバーバパパ」
アネット=チヨンとタラス=テイラー 作・絵
偕成社 (健1-A)



「燃えよ剣」
司馬 遼太郎 著 新潮文庫 (健1-C)

「はなになりたい」
すまいるママ 作・絵 東京書店(健1-B)



「SDGs」と「埼玉県関連図書」の コーナーができました



SDGs コーナー

SDGs の 17 の目標のうち、本学の学修や研究に関係するものを中心に、図書を集めたコーナーです。

埼玉県関連図書コーナー

埼玉県の歴史や文化、郷土料理や人物等に関連する図書を集めたコーナーです。

是非手にとって読んでみてください。



購入希望図書調査へのご協力ありがとうございました！

今年度は2回の調査を行いました。たくさんの図書のリクエストをいただき、ありがとうございました。残念ながら購入できない本は、理由が具体的でなかったり、すでに図書館の蔵書にあったり、絶版で手に入らないもの等です。

購入図書については、改めてお知らせしますので、図書館へ足を運んでくださいね。